

杉並区議会だより

[発行] 杉並区議会 [編集] 区議会広報委員会 〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 ☎3312-2111 FAX 5307-0695
<https://www.city.suginami.tokyo.jp/kugikai/>

新年のごあいさつ

井口 かづ子
杉並区議会議長

明けましておめでとございます。皆さまにおかれましては、お健やかに新年を迎えにられたこととお喜び申し上げます。私たちの生活を一変させた新型コロナウイルス感染症は、昨年5月に5類感染症に位置づけられ、区民の皆さまもコロナ禍前の元気な姿を取り戻そうと、様々な活動を再開されたことと存じます。

昨年を振り返りますと、3月のワールド・ベースボール・クラシックでの日本代表の優勝は、日本中を熱狂の渦に巻き込み、多くの感動と勇気をもたらしました。本年開催されるパリでのオリンピック・パラリンピック大会でも、日本人選手の活躍に期待するところでは、昨年6月の台風2号による大雨では、杉並区でも床上浸水や道路冠水、倒木等の被害が発生しました。国の研究機関等によると、地球温暖化が進むことにより、強い台風や大雨、短時間豪雨が増加することです。区民の皆さまの生命と財産をお守りするため、地球温暖化対策はもとより、防災・減災対策の取組が喫緊の課題であると強く認識いたしました。

昨年4月の区議会議員選挙を経て新生議会が発足しました。我々は、二元代表制の一翼を担う区議会の一員として選出されたことを自覚し、地域の皆さまの声をしっかりと伺いながら、区民福祉の向上に取り組んでまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

区民の皆さまにとって、本年が笑顔あふれる年となりますことを祈念し、新年のごあいさつとさせていただきます。

本年もよろしくお願い申し上げます。

ピック大会でも、日本人選手の活躍に期待するところでは、昨年6月の台風2号による大雨では、杉並区でも床上浸水や道路冠水、倒木等の被害が発生しました。国の研究機関等によると、地球温暖化が進むことにより、強い台風や大雨、短時間豪雨が増加することです。区民の皆さまの生命と財産をお守りするため、地球温暖化対策はもとより、防災・減災対策の取組が喫緊の課題であると強く認識いたしました。

昨年4月の区議会議員選挙を経て新生議会が発足しました。我々は、二元代表制の一翼を担う区議会の一員として選出されたことを自覚し、地域の皆さまの声をしっかりと伺いながら、区民福祉の向上に取り組んでまいりますので、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

区民の皆さまにとって、本年が笑顔あふれる年となりますことを祈念し、新年のごあいさつとさせていただきます。

本年もよろしくお願い申し上げます。




令和6年
2024年

今号の主な掲載内容	
会派から年頭のごあいさつ	2-3
区政を問う 一般質問 30名の議員が質問しました	4-8

令和5年常任委員会行政視察 魅力ある杉並区づくりに役立てるため、先進的な事業などを行う自治体等の視察を行っています

委員会名	視察日	視察先	調査事項	委員会名	視察日	視察先	調査事項
総務財政	10月19日	神奈川県 横須賀市	1 チャットGPTの業務利用について 2 書かない窓口について	都市環境	10月19日	福岡県 久留米市	環境部庁舎のZEB改修及びZEB普及の取り組みについて
区民生活	10月24日	埼玉県 富士見市	文化芸術振興の取り組みについて		10月20日	福岡県 春日市	LCCM及びZEH住宅について
保健福祉	10月25日	福岡県 福岡市	1 福岡市児童相談所について 2 里親制度について 3 児童相談所と子ども家庭支援拠点の連携について	文教	10月26日	埼玉県 戸田市	1 特別支援教育・不登校児童生徒サポートについて 2 学校ICT教育の取組及び教育改革について
	10月26日	大分県	1 子どもアドボケイトについて 2 権利擁護教育研究センターについて				

報告書は区議会ホームページで公開しています。



全員協議会を開催しました

令和5年10月30日に全員協議会を開催し「杉並区総合計画」等の改定について区から説明を受けました。区からの説明を受け、各会派の代表者が様々な質疑を行いました。全員協議会の会議録は、杉並区議会ホームページに掲載予定です。

陳情の審査結果


【採択】
 ◇消費者被害を防止、救済するため特定商取引法の抜本的改正を求める意見書を政府等に提出することを求めることに関する陳情 (5陳情第41号)
 ◇停電しても電気がつく電球の配布を求める陳情 (5陳情第25号)
 ◇杉並区立小中学校の「改築検討懇談会」の改革に関する陳情 (5陳情第32号)

意見書

消費者被害を防止、救済するため特定商取引に関する法律の抜本的改正を求める意見書

区議会は国に対し、訪問販売や電話勧誘販売について、消費者があらかじめ拒絶の意思を表明した場合に及ぶ事業者の登録制を導入すること等、特定商取引法の改正を求める意見書を12月6日付けで衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、内閣府特命担当大臣(消費者及び食品安全)、総務大臣、経済産業大臣宛に送付しました。

※意見書の全文は、区議会ホームページでご覧いただけます。




自民党・無所属 杉並区議団

新年おめでとうございます。新型コロナウイルス感染症が5類に移行され、行動制限のない新春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。

しかし、ロシアによるウクライナ侵攻、パレスチナとイスラエルの大規模な軍事衝突など、世界では胸が締め付けられる出来事が続いています。そして、それらの事は、物価高騰、燃料費高騰として我が国に影響を及ぼしています。

私たちは、国内における物価高、燃料費高がコロナ禍からの社会的・経済的回復の足枷とならないよう、引き続き区民の皆様と区内事業者への支援を力強く行っていきます。さて、岸本区政が誕生して二年目となりました。この間、国や都への返納金2億円余を議会に諮ることなく専決処分を行ったことや学識経験者選



吉田 あい
(幹事長)



藤本 なおや



岩田 いくま
(副幹事長)



大和田 伸



浅井 くにお



脇坂 たつや



矢口 やすゆき



小林 ゆみ



へんみ 純一



わたなべ 友貴

杉並区議会

新年おめでとうございます。3年以上に及んだコロナ禍を経て日本経済は回復基調にありますが、原油高騰や為替相場の不安定により足元の物価は依然として高水準で推移し、区民の生活の現場や小規模企業の経営に多くのしかかっています。

そのような状況下、昨年は、带状疱疹ワクチン接種費用助成、がん患者ケアプランスケア支援、高齢者補聴器購入助成、光熱費高騰緊急対策助成、0〜2歳の第2子の保育料無償化、自転車用ヘルメット購入助成、学校給食費の無償化

など、暮らしに直結する施策を推進。加えて、手話言語条例を制定し障害者福祉を前進させることができました。

昨年の区議会議員選挙を経て、杉並区議会は大きく様変わりしましたが、わが会派はこれまで同様、小さな声に耳を傾け、庶民目線で政策実現に取り組んでまいります。

そして、人生百年時代を見据えた「地域共生社会」の構築、妊娠期から切れ目のない子育て支援の充実、児童虐待対策強化、教育環境の整備、防災・減災まちづくり等々、皆様の安心につながる施策を推進してまいります。本年も宜しくお願いいたします。



おおつき 城一



渡辺 富士雄



中村 康弘



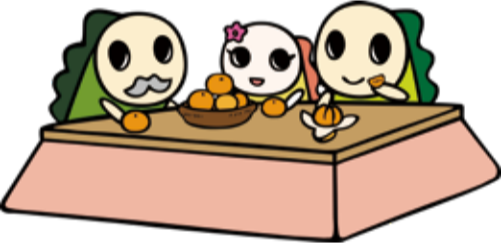
川原口 宏之
(幹事長)



斎藤 りか



山本 ひろ子
(副幹事長)



無所属・都民 ファーストの会

新年おめでとうございます。国民生活に多大な影響を及ぼし続けた新型コロナウイルス感染症はまだ終息には至っていません。また長引くロシアのウクライナ侵攻による燃料・資源コスト高、円安による急激な物価高騰が区民生



安斉 あきら
(幹事長)



あかねがくほ舞
(副幹事長)

れいわを耕す

れいわを耕すは2023年の貧困問題や高齢者の住宅の問題、女性の労働問題や、

参政党 杉並

新年おめでとうございます。本年も、高齢者も障がい者も誰もが安心して暮らせる街づくりに力を尽くします。また、特定の組織とのしがらみがないからこそできる主張、コロナワクチンの問題、教育の問題、食と健康の問題、地域の守りの問題等を度なく主張し区政の改善につなげます。ご意見をお聴かせください！



横田 政直

活を圧迫しています。こうした状況は早期に改善される見通しはまだ立っていません。

区政に目を転じると、区長は、自身の公約である「性的多様性」や「気候変動問題」等に執心で緊急的な区政課題には、関心が薄く区民の窮状を汲み取る施策が十分なまでに、区長任期の3分の1が過ぎました。



宇田川 ゆうじ

私も区民の目線で現在の区政に何が必要なのか、現状を直視し、57万人の区民が安心・安全・豊かに暮らせる杉並区を目指し責任ある会派として区政運営をチェックしてまいります。また、区民生活に必要な対策を迅速に図るよう具体的な施策を提案し求めまいります。本年もどうぞよろしくお願いたします。



井口 えみ



山名 かなこ



奥山 たえこ
(幹事長)

杉並みらいの会

新年おめでとうございます。現在、長引く円安や物価高により、当区でも経済的支援や福祉の充実が望まれていきます。高齢者や障害者支援、子育てや教育環境の充実、杉並らしいまちづくり等、区民の皆さまが安心して住み続けられる杉並を作るために、力を尽くします。生活の中のご意見を、ぜひお聞かせください。



田中 朝子

杉並わくわく会議

新年おめでとうございます。国際関係が大きく変化し、グローバルサウスが存在感を増しています。日本も対応を迫られています。排外主義に陥ることなく、近隣諸国と友好・平和とともに発展できる政治を実現したいと思えます。そしてウクライナ、パレスチナでは今すぐ停戦を！今年も全力で奮闘します。



松尾 ゆり

日本共産党 杉並区議団

新年おめでとうございませ...



くすやま 美紀



富田 たく (副幹事長)



酒井 まさえ



山田 耕平 (幹事長)



小池 めぐみ



和氣 みき

策として区内中小事業者に対...

立憲民主 杉並区議団

新年おめでとうございませ...



ひわき 岳 (幹事長)



安田 マリ (副幹事長)



赤坂 たまよ



松本 浩一



てらだ はるか



前山 なおこ

す。戦火の中で今この瞬間に...

子どもも含む多様な声と共に...

区議会生活者 ネットワーク

新年おめでとうございませ...



そね 文子 (幹事長)

杉並維新の会

新年おめでとうございませ...



松本 みつひろ (幹事長)

安心・安全 杉並の会

明けましておめでとうござい...



倉本 みか

本年も皆様にお心掛けて安全...

予算を充てる政府に対し、非...



奥田 雅子

ました。我が会派はこの議案...



鈴木 ちづる

都政を革新する会

新年おめでとうございませ...



ほらぐちともこ

東アジア・ウクライナ・中...

重要となっております。私たち...

杉並をセンタク 致し

女性の人権を無視する「性...



田中ゆうたろう

今年また駅に立つべし...

緑の党グリーンズジャパン

新年おめでとうございませ...



ブランシャー明日香

昨年の新議会の誕生で、岸本...

共に生きる杉並

新年を謹んでお慶び申し上げ...



木梨 もりよし

かけがえのない私たち一人...

無所属 (堀部)

日本の一人当たりGDPは、シ...



堀部 やすし

代を下回る低水準です。現実...



区政を問う 一般質問

区政全般にわたり、区長をはじめとする執行機関に対して行う質問を一般質問といいます。

11月15日～17日・20日・21日に30名が質問しました。その要旨をお知らせします。

※二次元コードを読み込むと、質疑応答の全内容を質問者別の動画でご覧になれます。

多文化共生社会と
難民・移民フェスへの
後援名義の是非



矢口やすゆき
(自無)

問 外国人との多文化共生社会の実現に向け日本の法律や道徳、杉並区のルールを理解し遵守していただく取組こそ必要と考えますが区の見解を伺う。



答 次年度以降、区的基本的な考え方と取組の方向性を示す「杉並区多文化共生基本方針」の策定を目指す。

問 難民・移民フェス後援の経緯を伺う。また当日の会場の様子を区は把握しているのか。

答 区の要綱にのっとり合議の上で後援を決定。フェス当日は区職員が複数人で会場を訪問し事業内容に問題ないことを確認。

問 会場内では入管法廃止の訴えや寄付活動など、後援基準「政治活動や寄付の禁止」に抵触している。後援を取り消すべき。

答 当該行為者は一参加者であり、主催者は目撃しておらず直ちに後援の基準に反したとは考えていない。寄付も難民等へのチャリティのためであり、主催者に対する寄付には当たらない。

問 反貧困ネットワークなど区長と近い関係にある団体が協力しているが、後援を出す際に区長への忖度などが働いたのか。

答 担当部署で承認したもの。

組織、学校徴収金公会
計化、養子縁組里親、
荻窪の地域施設



松本みつひろ
(維新)

問 障害者施策課で児童発達相談等を行っているが、療育を受けている子どもは障害者なのか。

答 発達の違いがあっても成長段階と捉えられる子どもおり、全てが障害児とは考えていない。

問 コンプライアンス上大きな懸念が残る私費会計による給食費無償化という状況を脱出するため、可及的速やかに公会計機能のあるシステムを導入すべき。

答 学校徴収金の費目や性質の精査、他システムとの連携を図るため、来年度の本格導入は難しいが、できるだけ早期に導入。

問 養子縁組里親の都の基準は、受託動機を「児童の最善の福祉」としており、子育てしてみたいという動機では実務上行われない。区独自の基準設定では、そのような動機も受け止め、基本要件等と総合的に判断すべき。

答 最善の利益のためには指摘のとおり総合的判断が重要。区独自の認定基準の検討を進める。

問 荻窪地域区民センター改修にあたり、荻窪地域の代替施設を検討すると答弁したが結果は。

答 講座等の事業実施や夜間利用の代替場所として、ゆうゆう荻窪東館を案内する。

子供を政治利用する活
動家が、「子供施策」
を語るな



わたなべ友貴
(自無)

問 子供の意見表明について、区には子供をデモに動員しプラカードを持たせ意見表明させる活動家がいる。子供の意見が否かの判断をどのように行うのか。

答 まずは本人の意見を最大限尊重する姿勢を持った上で、一人ひとりの子どもの最善の利益を図ることを基準に判断する。

問 対話の場「さとことプレス」には、日本共産党杉並区議団の公認候補予定者(当時)が公募で参加。今後、対話の場が個人の政治活動に利用されないよう、参加資格に「立候補予定者」を含めないことが必要である。

答 対話の場は原則一般区民の参加を想定。今後は具体的な対応方法を検討し、全庁的に共有。

問 対話の場に参加した区民から、「岸本区長が突然、自民党の杉田水脈氏を批判する朝日新聞の記事を紹介し始めて意味が分からない」との感想を聞いた。

答 区は、対話に参加した区民からどのような感想を聞いているのか。

問 区長と直接話せることができ区政が身近になった「大勢の前で意見を言い出しづらかった」など。現状に甘んずることなくブラッシュアップすること。

答 「区長と直接話せることができて区政が身近になった」大勢の前で意見を言い出しづらかった」など。現状に甘んずることなくブラッシュアップすること。

こども誰でも通園制度
に向けて「ふるさと納
税にのみすけを



前山なおこ
(立憲)

問 国が創設を目指す「こども誰でも通園制度(仮称)」は、親が就労等をしていなくても時間単位等で子どもを預けられる新たな制度であるが、区はどのように受け止めているか。

答 子育て世帯を支えるとともに、子どもの成長の機会の充実に、子どもの成長の機会の充実を図ることができると期待している。

問 区外の保育施設等に勤務する保育士については、入所を優先する仕組みを作ることとは考えていない。なお区では待機児童ゼロを継続している。

答 区外の保育施設等に勤務する保育士については、入所を優先する仕組みを作ることとは考えていない。なお区では待機児童ゼロを継続している。

問 区でもふるさと納税の寄附メニューにのみすけの活動に関する事業を入れてみてはどうか。

答 なみすけの認知度をさらに高めるべく、自治体の取組も参考に検討を進めていく。

問 令和11年度の開校を目指すとしており、引き続き取組を進める。

阿佐谷のまちづくりと
中学受験について



脇坂たつや
(自無)

問 阿佐ヶ谷駅北東地区土地区画整理事業施行者会では、将来の杉並第一小学校の跡地利用についても言及があったのか。

答 利用方法は決めておらず、阿佐谷の100年先のまちづくりを見据え、区と力を合わせ地域の皆さまのためになるまちづくりを進めたいとの考えを伺った。

問 新校舎は、大人が責任を持ち子供の学習環境を整備するという認識で準備を進めてほしい。

答 令和11年度の開校を目指すとしており、引き続き取組を進める。

問 区立中学校への進学率の現状や課題を伺う。「選ばれる学校」という意味では、学校選択制は一石を投じるものであった。改めて制度の意義や経過を伺う。

答 進学率は社会状況や家庭の価値観の多様化等、杉並という都市の特徴がある。課題は不登校の増加や部活動が一部成り立たない等。学校希望制度は魅力ある教育活動の実現と開かれた学校づくりに向け始めたが、希望者の偏り等が生じ取りやめた。

問 区教委は区立中学校のブランドをどのように考えているか。

答 地域と共にある学校づくりによって築かれた文化である。

区の職員のワーク・ライフ・バランスについて



山名かなこ
(れ耕)

問 学童等でも職員が出勤し荷物や着替え、着替える、空調を付ける等は業務に必要な準備であるが、業務と認識されないのか。また開所前の時間がサービス残業になっていないか調査すべき。

答 制服着用を義務付けていないが、業務に必要な準備は含めて考える必要がある。朝については超過勤務による業務はない認識だが、状況は把握していく。

問 区は女性管理職を増やす目標に向き合いつつ、労働者が働きやすい環境を作る必要があるが、数だけでなく、一つの働き方に労働者を押し込める男性中心な働き方を変えていくべき。

答 区が子育てや介護など様々な事情を抱えた職員が働きやすい職場づくりを率先して整備することで、社会全体でその気運が高まることを期待できる。

問 伝統的な女性役割を受け入れる女性が保護されるべきとする「好意的性差別」は女性の昇進意欲をそぐため、仕事の割り当ても含め考えていくべき。

答 引き続き性別に捉われず、能力、意欲などを踏まえた人事配置や仕事の割り当てに努める。

※掲載している一般質問の内容は当時の発言をもとに構成しているため、現在の状況とは異なる場合があります

「動物愛護について」
負傷動物や地域猫保護
・譲渡へ助成を



倉本みか
(安心)

問 現在、杉並区には負傷動物を保護したときの治療費・地域猫の保護に必要な工費などの経費・譲渡会の開催費用などに一切の助成がなく、保護活動を行う団体の区民が自費で負担するなどしている。他自治体は都の制度を利用し各場面で助成を行っている。杉並区も都の制度を利用し、区民の善意に頼り切りの状況を改善すべき。

答 私は祖父母宅の保護犬など犬猫に囲まれ育った。他自治体は譲渡会の実施をサポートするなどしており、杉並区の取組は足りないと考えます。



問 動物対策連絡会において検討していることだが、これまで既に連絡会にて助成を要望する話がなされ、担当課としても課題を把握しているはず。なぜ取組が進んでこなかったのか、その理由は。

答 保護・譲渡等の活動をしているボランティアがいることは聞き及んでいる。動物対策連絡会において引き続き検討していく。

災害対応業務へのデジタル技術の活用について

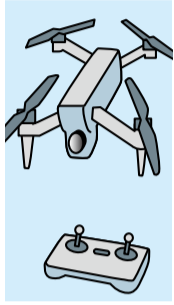


中村康弘
(公明)

問 災害対応業務の迅速化のためのデジタル技術の活用について区の認識を確認する。

答 職員等の人的資源に限りがある中、大変重要と考える。最新技術や先行事例などの情報収集に努めながら、積極的にデジタル技術を導入していく。

問 区が保有する高精度地図情報やドローンを活用し、空撮映像のA-Iによる解析等により復旧・復興支援業務の水準を格段に向上させられると思うが区の見解はいかがか。



答 被害情報を迅速かつ正確に把握でき、発災時の初期対応、被災後の復旧・復興の迅速化に大きく役立つなど、災害対策の精度や質を向上させる可能性を持っている。

問 A-IOCRやRPA等の技術を震災救援所の運営にも導入し効率化を推進するべきでは。

答 個人情報取り扱いなど注意する点を精査しながら、導入に向けて検討を進める。

問 ICTの業務継続計画(BCP)の今後の見直しは。

答 保全対象の拡大や運用手順書の策定など、災害時も適切に業務継続が図れるよう取り組む。

新たな総合計画改定案での緑被率確保目標の達成について!!

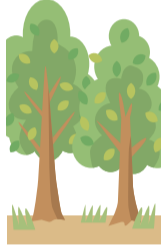


浅井くにお
(自無)

問 区は、今後6年間で、緑に覆われた土地を新たに92・3ha創出するという目標を打ち出した。環境重視を唱える区長が政治生命を掛けて取り組むと区民へ約束すると理解するが。

答 区として厳しい目標ではあるが、目標達成のため様々な施策を検討、実施していく必要があると考えている。

問 みどりの基金を一般会計予算で行う事業に使うのではなく、区内の貴重な緑を公有化し残すための寄付を集め活用する基金とし、使い道の見直しを。



答 みどりの基本計画の改定の中で、用地の取得を含め、区内の緑の保全に役立つ基金となるよう検討する。

問 上井草スポーツセンターの公衆喫煙所の迷惑施設化、改善措置をいっこうに取らないか、いつまでに対策を行うのか。

答 閉鎖型分煙施設への移行など検討したが、改善策を見いだせず、廃止も含め検討する。

問 西武新宿線連続立体交差の事業認可と合わせ上井草駅沿線の方々とまちづくりに取り組み。

答 上井草らしいまちのあり方などについて検討していく。

「脱炭素社会実現に向けて」エネルギー・建物政策その他



ヤマシロアキラ
(緑)

問 CO2の削減目標は、2030年50%ではなく、先進国の基準に引き上げてはどうか。

答 国際社会の要請、責任であるため、必要に応じて検討する。

問 誰もが1ページで、一目で分かる脱炭素ロードマップを作成すべきと考えるがいかがか。

答 地球温暖化対策実行計画の周知を工夫していく中で、ロードマップのあり方を考えていく。

問 特別区長会では共同宣言に基づき、ゼロカーボンシティ特別区の実現に向け、中小企業の脱炭素化支援を効果的に進めること等を目的とする金融機関との連携協定を締結。見解を伺う。

答 多様な主体との連携により持続可能な社会を目指す点で非常に有意義。施策展開を特別区長会と連携しながら検討する。

問 気候区民会議について、区には、入口と出口戦略を具体的に持っている「全体設計」があると考えますが、詳細を伺う。

答 準備段階から区民や有識者に意見聴取をしている。会議終了後は施策への反映状況等を参加者に伝えるとともに、広く公表していく。その後の取組は、参加者の意見も参考に検討する。

イスラエルのパレスチナ虐殺を止めよう



ほらぐちとも
(革新)

問 イスラエルによるガザ地区での大虐殺について区長の見解を伺う。

答 イスラエル軍による攻撃が続くパレスチナ自治区ガザ地区の人道状況について、国連事務総長は「ガザの悪夢は人道危機以上ものだ。人類の危機だ」と言っている。連日一般市民や子どもにも多くの犠牲者が出ている状況は、まさにその通りであり、世界中の人々と同様に私も深く憂えている。

問 上川陽子外相のイスラエル訪問やG7外相会合で日本政府が「イスラエル国民との連帯」を公言したことについて、区長の見解を伺う。また首長として岸田政権に「イスラエルの虐殺に加担するな」と抗議すべきと思うが、区長の見解は。



答 政府のパレスチナ問題への対応に一自治体の長として抗議する考えはないが、国は、国際社会と連携し、イスラエルとパレスチナの恒久的な和平と安定に向けて最大限の努力をすべき。

問 9条改憲について、区長の見解を伺う。

答 憲法9条の不戦平和の理念を大切にしたい。

施設のあり方は住民参画で。善福寺川水害対策は住民合意を。



山田耕平
(共産)

問 施設使用料は区民が利用しやすい使用料に引き下げを。

答 気軽に使える環境と利用しやすい料金設定へ見直しが必要。

問 施設再編計画は区民参画の策定プロセスに変更された。既に再編された地域でも検討を。

答 再編実施地域も含め、区・利用者等が連携し施設や地域づくりに取り組むことが、住民自治の再生・強化の観点から重要。

問 高齢者人口増、単身高齢者世帯割合が著しく増加する中、ゆうゆう館は老人福祉増進の重要な役割を担っているのでは。

答 ゆうゆう館は多くの高齢者の憩い、生きがいと学び、ふれあいと交流、健康づくりの場として重要な役割を担っている。

問 善福寺川河川都市計画変更素案は住民や公園利用者への影響も大きい。8月の素案説明会から短期間で計画案を確定する都の進め方は極めて拙速。懸念の声が広がっている。区は地域主権に基づき主体的に対応を。

答 計画は大規模工事で区民等への影響もある。内容に住民の憩いの場である公園活用もあり、住民への十分な周知と説明が必要。これまで以上に都に求める。

児童館の意義、果たしてきた役割を改めて見直そう!



小池めぐみ
(共産)

問 これまでの施設再編の検証において児童館の特性とは何であると認識したか。

答 子ども自身が選んで複数の部屋を利用できる、不登校の子どもも活動場所として活用しやすい、年代の違う子どもと日常的に出会える点などを確認できた。新たな居場所に基本的な役割は引き継がれているが、様々な課題があることも明らかにした。今後「仮称」子どもの居場所づくり基本方針の令和6年度中の策定に向け検討する。



問 当事者や地域の方から児童館存続を望む声が出ている地域においては、特に丁寧な要望の聴き取りを行ってほしい。

答 再編が行われた複数の地域で意見交換会を開催。それ以外の地域でも要望がある場合は意見交換の場の設定等を検討する。

問 さらに児童館がなくなっている地域では既存の区立施設の代替利用や、空き家活用、アウトリーチ型なども含め子どものサードプレイスの確保の検討を。

答 アウトリーチ型や既存施設を活用した居場所づくりの視点を、今後の検討において念頭に置くべき視点と考えている。

認知症対策、聞こえの支援、放課後等デイサービスについて



酒井まさえ (共産)

問 昨年6月に制定された認知症基本法は、認知症の人の尊厳が保障され、希望を持てる社会づくりの一步となる。法制定を受けた区の見解を問う。

答 認知症高齢者の増加が見込まれる中、ケア24の体制の充実など既存の取組を充実・強化し、認知症対策を進展させる。

問 認知症の普及啓発イベントは、多くの区民が集う場所での開催を求める。

答 今年度は、区役所、浴風会病院で開催。今後はより充実した事業を企画・実施する。

問 高齢者の補聴器購入費助成制度は杉並区と16区が実施。認定補聴器技能者による購入者へのアフターケアの充実を求める。

答 区の制度は認定補聴器技能者がある販売店で購入する仕組み。アフターケアを受けられる。

問 難聴の早期発見にも、聴力検査は重要。高齢者健診の際、聴力検査の実施を求める。



答 国の動向等を注視していく。

問 就学中の障害児が通う放課後等デイサービスは、区内に24カ所あるが、足りない。

答 開設促進を支援する。中学生以降の新たな居場所を検討。

ホームドア設置・学校教育のデジタル化と教員の働き方改革



宇田川ゆうじ (無都)

問 都がJR中央線へホームドア早期設置を求めていくが、区はJR4駅に優先順位を付け要望していくか伺う。



答 これまでも各鉄道事業者にホームドアの設置を求めてきた。改めてJR東日本をはじめ各鉄道事業者に早期設置を要望していく。優先順位を付ける考えはなく総武線も含め要望していく。

問 葛飾区の区長がJR各駅へのホームドア早期整備を要望したが、区長からはJR東日本にホームドアの設置を要望、意見交換をするか伺う。

答 これまでの状況を踏まえ、バリアフリー推進連絡会からJR東日本に早期設置を求める。議員のお力添えなど頂きたい。

問 教材のデジタル化とランドセルの重さについて認識を問う。

答 タブレット端末でできる家庭学習を増やし、全ての学校においてデジタル教科書の活用をより一層進める。

問 不登校児童生徒への支援に仮想空間をどのように活用し、民間と協働するか伺う。

答 仮想空間について、先行自治体の取組を参考に、民間との連携について検討していく。

人材の育成と誰もが未来に希望を持てる多様な学びの場を！



鈴木ちづる (維新)

問 区政経営改革推進計画の行政評価の実施における工夫は。

答 2段階評価の導入など、PDCAサイクルの改善を図った。

問 職員のスキル習得や人材育成のための研修制度はあるか。

答 職歴ごとに必要な知識を習得するための研修を計画し実施。



問 生徒指導提要改訂を受けた、指導の工夫や学校づくりを問う。

答 学校は自己指導能力の向上に努めている。提要の主旨は杉並区教育ビジョン2022の考え方と軌を一にしており、学校・家庭・地域等が連携して自立した子どもの育成を図る。

問 ふれあい月間のいじめ対策にある軽微ないじめとは何か。

答 被害を受けた子どもの心身の苦痛など個別に判断。継続性がない行為やすぐに解決した行為でも該当するという意味。

問 発達障害支援などのための情緒の固定学級の計画はあるか。

答 必要性は認識している。課題はあるが、情報収集に努める。

問 農福連携農園と近隣区立学校との連携について見解を問う。

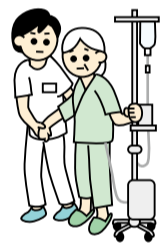
答 自然と触れ合うことを通じて勤労の意義や命の尊さを理解できる教育的価値のある取組。

介護等と地域医療体制とその連携について 今後の区の取組



松本浩一 (立憲)

問 地域包括ケア病棟やリハビリ病院といった、介護と医療を結び中間拠点となる病院の充実も必要であると考えらるが。



答 この間、在宅医療相談調整窓口に「病床が不足している」等の声は寄せられていないため、病床確保等の対応は行っていないが、医療と介護の連携に向けて、病床等の情報を医療および介護関係者に提供している。

問 介護保険制度において医療ケアも担う介護医療院の整備も遅れている。東京都には25施設あるが、杉並区にはない。今後、区での介護医療院をどのように整備していく予定か伺う。

答 整備・運営主体となる医療法人等の意向等を踏まえながら、区内での施設整備を図る考え。現時点で具体的な相談は寄せられていないが、引き続き医療法人等と適宜情報交換を行いながら、新たな整備の可能性を探る。

問 安心して介護や医療を受けられるよう、今後の区の介護と医療の連携に関する考えを問う。

答 引き続き、医師会との連携による関係者への周知を図る等、医療と介護が連携した在宅医療の充実に取り組む。

一時預かり事業、公園、HPVワクチン男性接種助成



あかねがくほ舞 (無都)

問 一時預かり事業の予約のオンライン化、支払いのキャッシュレス化の見通しを問う。



答 オンライン予約は子育てサポートセンターと子ども・子育てプラザでの導入に向け準備を進めている。キャッシュレス決済は区内で検討していく。

問 公園で喫煙ができることについて、区の所見を問う。

答 小さな公園での喫煙対策は十分ではないと認識しており、利用者が気持ちよく利用できるよう、禁煙・分煙のルールに関する検討に取り組む。

問 HPVワクチンの、区民の男女の1回目の接種者数と、従来の定期接種の実施率を問う。

答 男性は定期接種ではないため、接種者数は把握していない。従来の定期接種対象の女性は、令和4年度は37%、令和5年度は、9月までで58%が接種済み。

問 男性へのHPVワクチン接種の必要性の認識と、東京都の助成制度を活用予定か伺う。

答 国の科学的知見の収集状況や議論の状況を把握するとともに、都が予定している助成事業に関する情報や他区の動向を注視し、慎重に検討していく。

外国ルーツの子に支援充実、HPVワクチン男子接種に疑問



そね文子 (生ネ)

問 ある外国ルーツの子どもの家庭が就学援助の情報を知らず、経済的な理由で修学旅行に参加できなかった。説明書が日本語でしか届いていない事例もあった。今すぐ保護者に改めて周知し、新たに中国語・韓国語・ベトナム語など必要な言語でも文書を用意してほしいがどうか。

答 小中学校に再周知を依頼した。中国語・韓国語・ベトナム語のものも作成する。

問 区の計画に多文化キッズサロンの設置検討が入ったことを歓迎する。日本語を母語としな子どもたちの学習や相談、交流を通して支援を行う居場所だが、場所の確保が課題。都の助成を活用し区立施設だけでなく民間の施設も含めて検討を。

答 検討し、早期設置を目指す。

問 HPVワクチンの副反応は知覚、運動、自律神経、認知機能に多様な症状が一人の人に重層的に表れるのが特徴。海外では男女とも同様のことが起きている。女子は新しいHPVワクチン接種が進む中、男子に認可されたのは古い型のワクチン。リスクが高く進めることは疑問。慎重に検討する。



問 超高齢化に伴う負担増、サービス減、人材不足などの課題は多く、団塊世代が75歳以上になる2025年を迎える。次期計画に課題をどう活かすのか。

答 議会や区民の意見等を踏まえたより良い計画とする。また、介護保険料の上昇を抑制するため基金の有効活用を検討する。

問 子どもがまとう香りで体調を壊し、保育に支障が出るなどの事例を区は把握しているか。

答 香害の報告はないが、啓発ポスター掲示等周知を依頼した。

高齢者の暮らしが守られ、化学物質から子どもを守る社会へ



奥田雅子 (生ネ)

問 介護認定について、法では申請から30日以内となっているが、それを超える割合、30日以上となることによる影響を問う。

答 4月から10月末の申請から認定までの平均は49.8日、30日以上の割合は95.8%。適切にサービスが提供できない恐れがあり積極的に改善に取り組む。

問 高額介護サービス費について、負担上限額を超えた分は申請により支給される。還付までの手続きはどうか。

答 該当者に申請書を送付し、申請後は高額介護サービス費発生のため自動的に振り込む。この間、ほぼ100%の方が申請の間に、

問 超高齢化に伴う負担増、サービス減、人材不足などの課題は多く、団塊世代が75歳以上になる2025年を迎える。次期計画に課題をどう活かすのか。

答 議会や区民の意見等を踏まえたより良い計画とする。また、介護保険料の上昇を抑制するため基金の有効活用を検討する。

問 子どもがまとう香りで体調を壊し、保育に支障が出るなどの事例を区は把握しているか。

答 香害の報告はないが、啓発ポスター掲示等周知を依頼した。



答 香害の報告はないが、啓発ポスター掲示等周知を依頼した。

要介護認定員不足、児童クラブ待機児童問題について



井口えみ (無都)

要介護認定員の不足は、利用者とその家族、事業者、区職員に悪影響を及ぼす。区の認識と、根本的に解決するための方法はあるのか伺う。



大変重く受け止めている。新たな調査委託や区の人員体制の拡充等の対応をしていた。

区は認定申請の増加対策として、各施設のケアマネジャーによる自身が担当する利用者の認定調査を始めた。この方法については、国も都も公平性の観点から望ましくないと認識がある。区としては苦渋の決断であるが、区長の見解を伺う。

緊急・時限的な措置として行うとしたものだが、国の通知を考慮し、ケアプラン作成事業所が行った認定調査結果については、区が個別に確認等を行う。

前区政の児童館再編をいったん中止し、いまだ白紙の基本方針を基に児童クラブの整備を進めるとのこと。一刻も早く待機児童対策を進めるよう求める。

待機児童が発生する可能性が高い児童クラブへの対策について、基本方針が出来るまでの間においても先行して検討を進め、取り得る対策を実行する。

都の善福寺川水害対策の進め方に問題あり。立ち止まって！



ひわき岳 (立憲)

善福寺川緑地に取水施設等ができることで公園の自然環境や子どもの遊び場が失われる。この影響への区の考えは



利用者や環境への影響は少なからずあると認識。都に対してきちんとした説明を求める。

区立公園に施設を建設する案になるのを、いつ知ったのか。令和2年8月に都から関根文化公園を活用することへの検討依頼を受け、同年9月に了承。景観や水辺の動物にも配慮し、川の護岸を急斜面にする工事を見直すよう求める声がある。

急斜面でない護岸整備や多様な動植物が生息できる環境の再生・創出に都と連携し努める。

区から都に環境影響評価を行うよう求めていただきたい。都では実施予定はないとのこと。環境面に関する調査をし、自然保護に努めるよう求める。

善福寺川の水害対策、善福寺緑地の環境保全について、グリーンインフラや生物多様性の専門家や、住民と考えていく枠組みを計画等へ位置付けるべき。区民との対話に努め、専門家の知見を得て、都とも連携し総合的な治水対策に取り組む。

自閉症・情緒障害学級設置と、新生児の特別養子縁組促進を



田中朝子 (杉み)

区の小中学校での発達障害児童・生徒への支援、対応を伺う。また課題は何か。

就学前から保護者に状況を聴き取り、円滑に就学できるよう努めている。以前は新入生の特別支援教室の利用は2学期からであったが、入学当初から指導を受けられるよう改善した。



「自閉症・情緒障害特別支援学級」整備の検討、議論等を行っているか。区でも設置すべき。必要性は認識しているが、直ちに設置する予定はない。今後も他自治体の情報収集を行う。

里親など、家庭養護促進のための区の児童相談所開設に関する方針、見解を伺う。

区立児童相談所設置後は、里親のリクルートから児童の自立支援までの一貫した里親支援を区が主体的に行う。子どもの委託を受けていない家庭も含めた里親支援などに積極的に取り組んでいきたい。

区でも児童相談所開設後は、民間の養子縁組あっせん事業者と連携し、新生児の特別養子縁組を促進していくべきと考える。あっせん事業者と連携・協力し、特別養子縁組を促進する。

杉並エンディングノートにおひとりさまのための終活項目を



奥山たえこ (れ耕)

杉並区エンディングノートの発行経緯と評判はいかがか。



事業者から提案があり協定を締結。令和3年度から発行・配布して、順調に区民の皆様へ持ち帰っていただいている。

ひとり暮らしの高齢者の世帯はこの20年で2.2倍に増えている。だが区のエンディングノートはその存在を想定しているように読めない。死亡届は自分で出すことができない。おひとりさまの場合は遂行者を確保しておく必要がある。今年度、家族のある人と異なる。今年度、「死後事務委任」を知らせるコメントを加えてほしいが可能か。しかし区のノートでは、分厚くなり何がだか分からなくなるので詳しく書いてほしいとは思っていない。ひとり暮らしの人に、死後事務委任について知ってほしいと私が講座を開き、どんな準備が必要か、報酬や費用はいくらかかるのかを具体的に示したところ、少し安心してもらえた。

今後、より内容を充実したエンディングノートを発行・配布していく。死後事務委任に関する簡潔な内容も盛り込む。

職員服装自由化の通年化・女性活躍社会・保育施設環境改善



おおつき城一 (公明)

2023年日本の夏は、平均気温が過去最高を記録。1年のおよそ4割が夏日に「地球沸騰」と警鐘が鳴らされる中、環境省は気候等に合わせ各人が服装を判断するクールチョイスを推奨。当区もTPO(時・場所・場合)を踏まえた上で、服装自由化の通年化を検討すべき。



気候変動対策は急務であり、職員の服装自由化は健康管理や意識啓発効果が期待できる。先事例を参考に導入を検討する。

女性区長誕生後も女性区職員の条例部長は以前と同じ1名のみ。女性部長のロールモデルを多く輩出することは、女性職員をはじめ全職員の働き方改革につながる。人事権を持つ区長は女性部長職何割を目指すのか。

区の常勤職員は男性より女性が多く、女性管理職目標30%に対し現在は20%。従来の方法では、区の目標達成や社会が求めるスピードにも追いつけない。女性部長職割合は5割を目指す。

区立保育園の中核園の半数が築50年以上。洋式トイレはじめ保育施設環境の改善を求める。トイレ環境の改善に取り組む。園の改築は中核園から検討。

生成AIの利用禁止は時代錯誤だ 人口ビジョンなき新区政



堀部やすし (無)

区の妊娠届出者数は平成30年度(コロナ禍前)に比べ、どの程度の減少になる見込みか。

実績を踏まえて推計すると20%弱の減少となる見込み。

区の人口ビジョンは平成30年度の改定後そのまま放置されている。結果として、経年的な人口構成の変化(妊娠出産の減少、後期高齢者の増加、在住外国人の増加等)が地域の将来に与える影響の分析・考察が十分ではない。区長交代に伴う総合計画等の前倒し改定に当たり人口ビジョン等を示さず作業を進めている点に強い疑問がある。

中長期的な人口減、少子高齢化の傾向は確認できている。

生成AIの活用については区長から極めて慎重な姿勢が示された。だが利用を禁止していても、その利便性から水面下で活用が進む可能性がある。コントロールの及ばない水面下で利用が進むほうが危険ではないのか。適切な管理の下で活用を進め、その経験を庁内で共有していくことが大事ではないのか。

今後はルールの策定を含め職員が安全に利用できる環境整備を進めていきたい。

杉並芸術会館(座・高円寺)で公演を行う劇団燐光群は、アフタートークの形で政治的主張を度々展開。チェックせよ。

杉並区の後援イベントで、外国人が区民を脅迫！



田中ゆうたろう (セン)

区立公園で行われた難民・移民フェスで、参加した外国人の一部の区民を脅迫。立憲民主党ひわき岳区議ら連名で、何ら差別的発言を行っていない区民を「差別主義者は帰れ」と排除。区の後援名義を取り消せ。

後援基準に反していない。区長が性別非公表の区議の性別をアウティング。性的少数者を含む社会全体に謝罪せよ。



当該議員に謝罪した。LGBTQ+理解促進講座の講師・浅沼智也氏に、性暴力疑惑が浮上。同講座は中止せよ。中止は考えていない。

区長は「ポリアモリー(複数性愛)も性の多様性に含まれる」と答弁。「こんな性道徳の乱れた人物が区長とは情けない」との声があるが、こうした声は性を理由とする差別に当たるか。該当しない。答弁は、区長自身の考え。

杉並芸術会館(座・高円寺)で公演を行う劇団燐光群は、アフタートークの形で政治的主張を度々展開。チェックせよ。確かに原発処理水を「処理していない」とする話などもあったが、政治的に偏っていない。

対話でつくる、杉一小の未来。校舎改築にあたって



安田マリ (立憲)

杉一小の約150年の歴史の重みを噛み締め、この先10年の未来に教育風土を継承すべきと考えるが区の見解を伺う。



卒業生約1万3000人が杉一小で学んだ時間は、杉並区の教育の原点である。この歴史と地域に支えられた特色ある活動を、未来に残すべき。杉一小のよりよい未来の実現に向けて区民の皆さんと共に、全力で取り組んでいく。

杉一小の特性をどのように捉え、継承していくのか。朝先生やすぎ子くらぶ、ジュニアバンドのジャズストリート参加等、地域と共に歩み支えられてきた。今後も伝統やつながりなどを大切にしたい。

地域との対話の場を、今後どのように創出するのか。さらなる情報提供と意見聴取のため、オープンハウスやアンケート実施等も検討している。

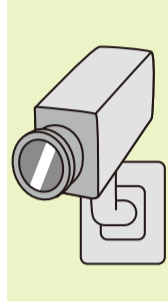
区が「個人情報なので公開できない」としてきた換地情報などのような形で公表するのか。地権者の協力を得て、資料の準備を進めている。完成次第、区ホームページへの掲載等、広く公表する予定である。

安全安心な街づくり！教育と洗脳は紙一重と強く意識すべき



横田政直 (参政)

区が把握している防犯カメラの数は。区が一元的に設置して管理運用すべきでは。



約3800台。一元化については今後も研究を続ける。

区内全域での点字ブロック設置の見直しおよび課題は。設置基準を踏まえ設置を進めている。車いす利用者の障害物となりにくいこと等が課題。

公共施設における光熱水費は、数値目標を掲げ経費削減を。経費ベースの目標は難しい。モデルナによる「mRNAのひみつ」という漫画が小学校等へ寄贈。ワクチンを推進する立場から書かれており偏った情報を植え付ける危険性がある。

内容について特段問題ない。昨年起きた学校関連の不幸事への具体的な再発防止策は。盗撮、ストーカー行為について、教育長名で綱紀粛正を通知し、全教職員に研修を実施。校庭の釘で児童がけがをした事故について、学校・子供園で危機管理マニュアルを改訂、校庭管理を徹底している。指導要録の紛失事故について、指導要録の適正管理の徹底、済美教育センターによる確認体制を見直した。

戦争をしない世の中へ多文化共生と子どもの居場所を考える



てらだはるか (立憲)

多言語での対応はどの程度行われているか。部署によって方法は異なるが、対面での通訳4言語やタブレットでのオンライン通訳9言語、多言語表記での案内、対応可能な医療機関の紹介など。

災害時の案内など「やさしい日本語」でも対応できるとよいが、区の現状と今後は。杉並交流協会と連携し、パンフレットを見直している。



自治基本条例における区民の定義について、年齢や性別、国籍など属性の制限はあるか。区民を「区内に住み、働き、又は学ぶ人」と幅広く定義しており、年齢や性別、国籍についての要件はない。

杉並に暮らすすべての子どもの福祉を保障し、交流しながら共に成長していくために部署の連携をしてほしい。

来年度策定予定の「(仮称)子どもの居場所づくり基本方針」では、子ども家庭部、文化・交流課、障害者施策課、教育委員会事務局関係課等で検討組織を構成。国籍や障害の有無にかかわらず利用できるインクルーシブな居場所を視野に入れて検討。

議案等の概要と審議結果



議員別の表决結果は、こちらからご覧いただけます。

【第4回定例会】

○=賛成 ×=反対 △=会派で意見が分かれたもの 欠=欠席 令和5年12月6日議決 (◆は11月21日議決)

Table with columns for item number, title, committee, summary, and voting results for various council proposals.